

# 「羽包み(はくくみ)」

第八号 平成23年12月15日発行

自立援助ホーム「湘南つばさの家」

〒253-0022 神奈川県茅ヶ崎市松浪 1-12-17

TEL・FAX 0467-58-6260 [shonan-tsubasa@marble.ocn.ne.jp](mailto:shonan-tsubasa@marble.ocn.ne.jp)

〔郵便局での振込みは〕 ゆうちょ銀行 振替口座 00200-5-81277 自立援助ホーム 湘南つばさの家

〔銀行からの振込みは〕 ゆうちょ銀行 店名：029 当座 0081277 自立援助ホーム 湘南つばさの家

## この道をゆく

ホーム長 前川 礼彦

「この道より 我を生かす道なし この道を行く」

この言葉は私がホーム開設をする前に、数か月研修にてお世話になったあるホームの机に飾られていた言葉です。本当に開設できるのか、先が見えずに不安を抱いていた私の心に強く響き、支えとなった言葉でもありました。

あれから年月が過ぎ、つばさの家もこの12月1日をもって6年目に入りました。支えて下さった皆様のお陰様で何とか5年を維持することが出来ました。本当にありがとうございます。

振り返れば走り抜けた月日でしたが、出会った少年達との暮らしは、沢山の喜怒哀楽の連続でした。共に暮らすということは、ごまかしの効かない自身との向き合う日々でもあります。心身ともに活力が不足しても気力を奮い立たせながら生活することもありました。しかし少年たちが背負った辛さに悩みながら、それでも懸命に生きようとしている姿に触れるとき、彼らの人生を心から応援したいと再び静かな情熱を燃やすのです。

人には天職というものが本当にあるのでしょうか。実際は「これで良いのか」と自問自答しながら道を作っていくものかもしれません。しかしあのホームに飾られていた言葉を見たとき、心に深く響いた感覚を今でも忘れません。私はこの道で生きていく。そう自然と湧き上がった思いが「覚悟」に変わり、信じて歩んでいこうと思いました。覚悟をもったとき、それは力へと変わっていったのです。

どの道を通っても困難はあり、他を見れば無いものに惹かれて心が揺らぐこともあります。しかしどんな道も深く追求すれば新たに見えてくるものがあり、深く追求するからそこに楽しさや幸せを感じられるのかもしれない。それはどんな生き方をしても共通するのではないのでしょうか。なるべく無理せず結果を急がずに、出会う少年たちに誠実に関わっていくこと。そして温かい暮らしと存在を大切に、この道を歩んでいきたいと思えます。

今後ともつばさの家を宜しくお願い申し上げます。